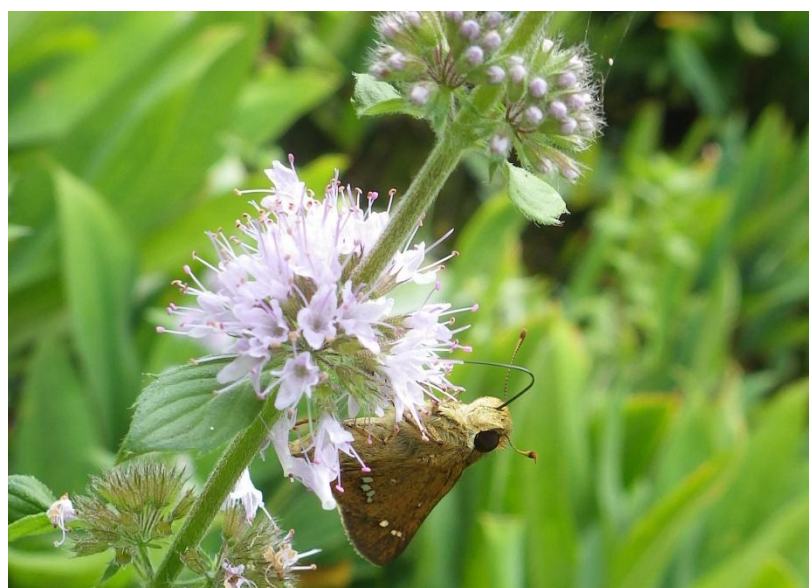
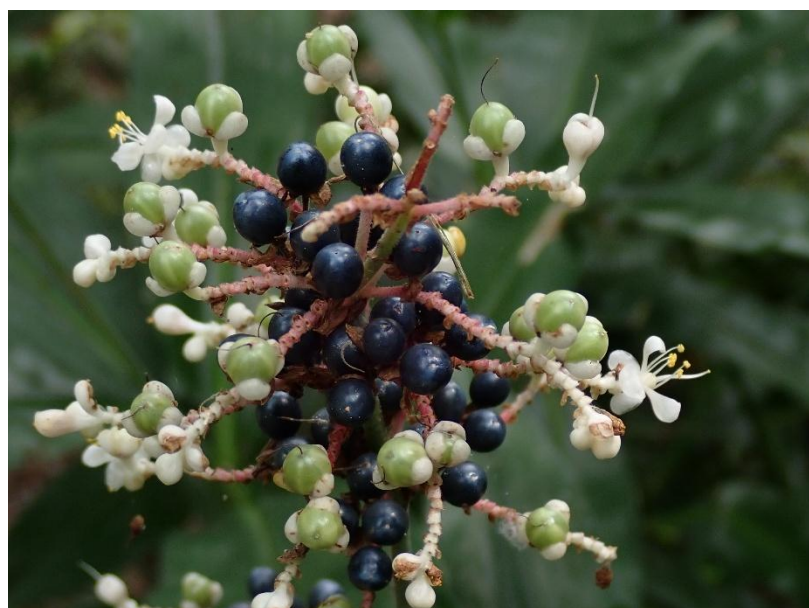




1位 ウォーターミントほか



2位 ヤブミョウガ



3位 ナタマメほか



トピックス コシガヤホシクサ

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

みごろの植物

第1079号 2026年8月27日 次号予定9/10



カラー版はこちらから

まだまだ暑いけど、秋を知らせる花が咲きはじめたよ！



今週のベスト3！

青い札が目印です

1位 中央広場 エキノドルス、ホソナガバミズアオイ、マルナガバミズアオイ、ウォーターミント(ヌマハッカ)、ヒメシロアサザ、コシガヤホシクサなどが水辺を涼しげに彩っています。

2位 ヤブミョウガ 紺色に色づいた果実が艶めています。果実と花の両方をご覧ください。

3位 野菜いろいろ コンニャクの葉が茂り、ゴマ、カボチャ、トマトなど野菜の花やヒョウタンの花がたくさん咲いています！ナタマメの大きく育ったサヤをぜひご覧ください！



じゅもーく先生トピックス

★コシガヤホシクサ

Eriocaulon heleocharioides ホシクサ科

コシガヤホシクサが唯一茨城県砂沼に残っていた理由と、1994年に絶滅してしまった理由は実は背中合わせの関係にあると考えています。春から夏までは水深が1m以上あるため水中生活をし、水田への水供給が必要なくなる秋に花を付け種子を落とします。秋に水位が下がらなかったのが絶滅原因ですが、春から夏に水位が高いことも実は重要と考えています。植物園で栽培している時は常に水位は低く、葉が水上に出る状態でよく生育します。しかし、砂沼の環境がそうだった場合には、おそらく他の湿生植物との競争に勝てなかったかもしれません。水中でも水上でも生育できるコシガヤホシクサこそが生きられる砂沼の環境が、希少な植物を長年維持していたと考えられるのです。まさに運命的な巡り合わせです。

筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 田中法生

見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。筑波実験植物園では、科の表示を「新エングラー体系」から「APG体系」へ変更しています。筑波実験植物園ホームページ <https://www.tbg.kahaku.go.jp/>

① サルスベリ 園路から見上げると鮮やかなピンク色の花がご覧いただけます。

② ガウラ 淡いピンクがかった花が風に揺れ、たくさんの蝶が舞っているようです。

③ シカクヒマワリ 元気に咲いています。まだまだ暑い夏を感じます。

④ キウイフルーツ 美味しそうな実がなっています。

⑤ ルリマツリ 涼しげな瑠璃色の花は爽やかな気分させくれます。

⑥ オニヤブマオ 白い花の穂が目にはまぶしいです！

⑦ ハマカンゾウ 暑い中、次々と新しい花が咲いて、ビタミンカラーに元気をもらえます！

⑧ コガマ こんがりした色の穂が目立ちます。

⑨ ヒオウギ オレンジに紅色の斑点、鮮やかな花色が緑陰を彩ります。

⑩ オミナエシ 秋の七草のひとつ。たくさんの虫たちが訪れています。

⑪ タマゴタケ 見つけると思わずうれしくなります。つやつやで可愛い！出会えたらラッキー！

⑫ レンゲショウマ 淡いピンクの花が可憐に咲いています。

植物園フェスタ

大集合！

いろいろなイモ

9.19(土)

会期中無休

- 9.27(日)

- A サバンナ温室
- B 熱帯雨林温室
- C 水生植物温室
- D 熱帯資源植物温室



- ★ 花
- ❖ 果実・種子
- ◇ その他
- ◇ ぬり絵の植物
- 👷 工事中

W 世界の生態区

H 生命を支える多様性区

配布中のぬりえ

③ シカクヒマワリ
題材の見ごろ時期がずれる場合や
題材変更、配布休止の場合があります。
なくなり次第配布終了となります。

環境省レッドリストカテゴリー

- [CR] 絶滅危惧IA類
- [EN] 絶滅危惧IB類
- [VU] 絶滅危惧II類
- [NT] 準絶滅危惧

以下ご遠慮ください。植物園の植物はすべて研究対象です。





1位 ダシリリオン・ウィーレリ



2位 食虫植物コーナー



3位 アカバナナ



トピックス

ティフォノドルム・リンドレイアヌム

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

温室のみごろ植物

第1079号 2026年8月27日 次号予定9/10

今週のベスト3！

黄色い札が目印です

1位 ダシリリオン・ウィーレリ 雌株の花茎が天井まで伸びています。当園での開花は2009、2015、2019年に続いて4回目です。

2位 食虫植物コーナー ネペンテス、ハエトリソウ、ムシトリスミレ、ウサギゴケなど、さまざまな食虫植物が見られます。

3位 アカバナナ 通常のバナナの倍以上のむっちりとした大きな実がなっています。房の色が少し黄色くなってきました。



じゅもーく先生トピックス

★ティフォノドルム・リンドレイアヌム
Typhonodorum lindleyanum サトイモ科

マダガスカル島にのみ分布するサトイモ科の巨大な水生植物です。幹のように見える部分は葉(葉鞘)が重なっているだけで、茶色い繊維は古い葉鞘が枯れたものです。以前、幹を分解してみたところ、10枚くらいの葉が重なっていました。自生地では高さが最大4mにもなるということですから、葉だけで支えているというのは驚きです。また、葉だけでなく花も果実も巨大です。果実は水によく浮き水面を移動します。

筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 田中法生

見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。

